

2019年度 「家族キャンプ」

- 1 期 日 令和元年8月10日（土）から11日（日） 1泊2日
- 2 場 所 国立立山青少年自然の家（立山町芦峯寺字前谷1）
- 3 参加人数 29人
参加児童生徒 10人
参加家族 10人
大学生ボランティア 9人（富山大学人間発達科学部1、2年生）

4 活動内容

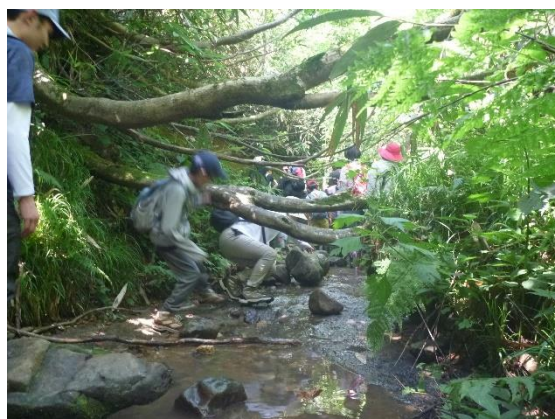
（1日目）

出合いの集い



参加者とスタッフとの出会い。少しずつ笑顔が見られるようになりました。

沢歩き



木の下をもぐったり枝をまたいだり・・・。沢の中をどンドン歩きます。

沢歩き



山の中に、竹でできた大きなすべり台を発見！思いっ切り遊びました。

ねぐら作り



テント分譲中！作り方の説明を聞いてから、テントをみんなで組み立て、家族のねぐらとなるテント村を作りました。

野外炊事（カレーライス作り）



「みんなの食事をみんなで作る」ことをねらいに、かまど、炊飯、カレーの調理の三つの役割を参加者全員で分担して作りました。みんなが少しずつ関わったカレーを味わいました。

ともしびの集い（キャンプファイヤー）



昼と夜の境目の黄昏に、暮れゆく一日を感じながら、ファイヤーが少しずつ明るさを増します。ファイヤーに見送られ、ナイトハイクの森へ。わずかな光をたよりに、それぞれを感じ合って歩きます。

（2日目）

水鉄砲づくり・水遊び



ペットボトルを使って、ストローの長さや太さを考えて一人一人が作りました。水鉄砲での水のかけ合いから始まり、最後は洗面器を使って水をかけ合うなど、大人も子どもも水だらけで笑い声をあげていました。

別れの集い



ゆるやかな光と風に包まれて、ゆったりとした時間が流れた2日間。様々な出会いの中で過ごした活動の感触を振り返り味わって、みんながつながったバルーンが立山の空に舞い上がりました。

5 参加者の声（アンケートから）

〈参加児童生徒〉

- すごく楽しい時間でした。小学生、中学生、大学生みんなでいろんな話ことができました。
- 沢歩きや水遊びなど、いつもできないことができて、夏の思い出ができました。
- 自由に過ごせる時間がたっぷりあって、嬉しかったです。

〈参加家族〉

- 本人が「行きたい」と言い参加した。あの子なりの楽しみ方で参加できていたと思う。
- 「強制的にさせられる」感覚がなく、本人がとても心地よさそうな様子だった。
- 友達の家族の中で食事をするなど、少したくましくなった気がした。